

栃木県立宇都宮高等学校新聞部の活動報告

月	報告欄	チェック欄	
4月	○8日 瀧乃原新聞第236号発行（新入生歓迎号）	休養日 土日・祝日、春休み	教頭 校長
5月		休養日 土日・祝日	教頭 校長
6月	○8日 瀧乃原新聞第237号発行 本号の発行をもって、3年生は引退した。	休養日 土日・祝日	教頭 校長
7月		休養日 土日・祝日、夏休み	教頭 校長
8月		休養日 土日・祝日、夏休み	教頭 校長
9月	○10日 瀧乃原新聞第238号発行 新体制になって初の発行。1・2年生3名での新聞作成は大変だったが、役割分担をしっかりと行い発行することができた。宇都宮女子校新聞部からの寄稿文を掲載できた。	休養日 土日・祝日	教頭 校長
10月		休養日 土日・祝日	教頭 校長
11月	○12日 第15回県新聞コンクールにおいて優秀賞を受賞 部長が高文連新聞部会で活動報告を行い、宇都宮女子高校新聞部との共同企画についての成果と課題を発表した。コンクールでは2年連続の優秀賞にとどまった。	休養日 12日を除く土日・祝日	教頭 校長
12月	○20日 瀧乃原新聞第239号発行	休養日 土日・祝日、冬休み	教頭 校長
1月		休養日 土日・祝日、冬休み	教頭 校長
2月		休養日 土日・祝日	教頭 校長
3月	○1日 瀧乃原新聞第240号発行（卒業号）	休養日 土日・祝日、春休み	教頭 校長
年間を通した反省	昨年度から引き続きコロナ禍での活動となり、感染症拡大防止のため、編集会議などは部室で行わず、オンラインを通して実施し、安心安全な活動ができた。部長の主導の下、宇都宮女子高校新聞部との交流を行い、それぞれの新聞に寄稿しあうという成果を残したが、これが今後継続できるかが課題である。部員数が少なく部としての新聞作成のノウハウや課題をなかなか継承できないという問題がここ数年続いている。また、コロナ禍の中で取材活動も制限され、記事の書き方が画一的になっている。毎年行ってきたOB会との交流も2年連続で実施できなかったことも残念である。しかしながら、少ない部員と制限された活動の中で、安心安全の配慮しながら部員の協力と工夫により年間5回瀧乃原新聞を発行できた。	教頭 校長	校長